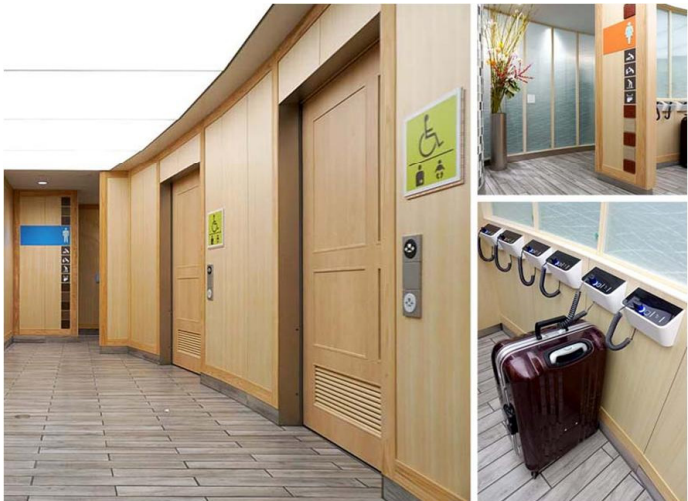


外観



箱根の寄木細工を用いた大きなトイレサインが見つけやすい。「駅の喧騒の中、ひととき安らぎを感じる場所としてのトイレ」をコンセプトとし、箱根と新宿を行きかう人の流れをプランとデザインで表現している。

トイレ広場



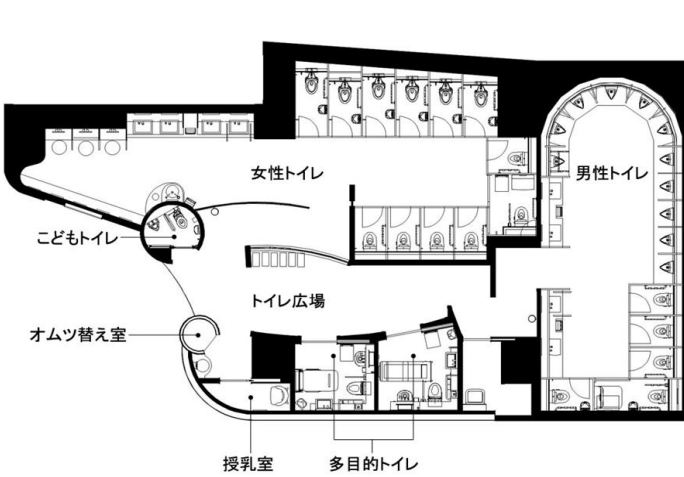
トイレ広場に面して、多目的トイレ・男女トイレ・こどもトイレ・オムツ替え室・授乳室を配置。入口には、大きな生花。ユニークな大型荷物一時保管装置は、交通系ICカードなどによって施開錠できる便利な仕様。

こどもトイレ



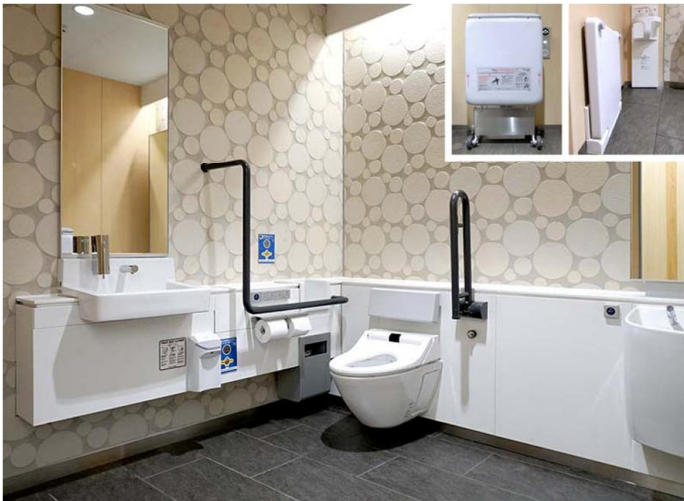
トイレ広場一番手前に設置された、こどもトイレ。お子様のスケールで統一された設備がかわいらしい雰囲気を出している。引戸上部に小窓を付け、保護者が扉の外から見守りができるように配慮されている。

トイレ図面



駅連絡口の改修工事完了に伴い、築27年経過していたトイレを従来の2倍以上に拡げて全面リニューアル。すべての大便器ブースにL型手すりを設置し、左右勝手に配慮するなど、機能を充実させている。

多目的トイレ



RESTROOM ITEM 01フラットカウンター多機能トイレバックを選定。カウンターは洗面器からオストメイト対応汚物流しまで、高さ750mmに統一。荷物を置きやすいように配慮されている。

オムツ替え室 授乳室



(左)オムツ替え台の横には手洗器を設置。(右)小田急電鉄の駅施設初の採用となった女性専用の授乳室。全身鏡を設置しており、授乳後の身だしなみを整えることができる。

男性トイレ



プライバシーに配慮して、小便器コーナーには、環状にレイアウトされた小便器間に、間仕切りを設置。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用。

女性トイレ 洗面・スタイリングコーナー



自動調光システムにより、四季や昼夜の変化に対応した演出照明を採用。駅にいることを忘れてしまいそうな洗練された雰囲気の洗面・スタイリングコーナー。真っ赤な鏡の枠と丸い椅子が空間のアクセント。

建築概要

名 称	小田急電鉄新宿駅西口地下改札内トイレ
所 在 地	東京都新宿区西新宿1-1-3
施 主	小田急電鉄株式会社
設 計	有限会社設計事務所ゴンドラ
施 工	株式会社フジタ
竣 工 年 月	(改修)2017年12月

男性トイレ



広め的大便器ブース(左)には、ベビーシート・フィッティングボード・ベビーチェアを設置。間口の広い洗面カウンターは、足元にも荷物を置くことができるほか、1台は車いすのアプローチ性にも配慮している。

女性トイレ 大便器ブース



床の清掃性に配慮して壁掛大便器セットを設置。入口の情報ディスプレイで、トイレの混み具合を、駅構内を含めて確認することができる。

水まわりの特長

<改修の経緯>

小田急電鉄新宿駅は、1日の平均乗降人員数が約50万人と小田急線では乗降客数が最も多く、観光地箱根への玄関口でもある。このたび駅中央連絡口の改修工事により、築27年経過し老朽化した西口地下改札内トイレを、従来の2倍のスペースに拡げ、全面リニューアルした。「駅の喧騒の中、ひととき安らぎを感じる場所としてのトイレ」をコンセプトに、箱根を意識したウッディでやわらかな空間意匠のもと、「天然オイルを活用したアロマ」「四季にあわせた生花」を採用、癒しの空間を創出している。

<トイレの特長>

小田急電鉄初の授乳室や新宿駅構内の全トイレの空室が分かる情報ディスプレイ、大型荷物の一時的保管装置「Baggageport」の設置など昨今の利用者のニーズを踏まえ、利便性の向上と安らぎを提供している。大便器は、すべて洋式としウォシュレットと便座クリーナーを設置。また、女性トイレは、ブースを増設して混雑緩和を図る。多目的トイレは2ヶ所設置、さらに機能分散の目的から、こどもトイレ、オムツ替え室を設置するほか、男女トイレ内にもお子様連れ配慮を施すなど、さまざまな利用者が使いやすい個別機能を充実させている。男性トイレの小便器コーナーは、ゆったりとした間隔とし間仕切りを設置。心地よく使えるようプライバシーに配慮している。